

現小学6年生・冬期講習会 中学準備ゼミⅠ期のご案内（定員状況）

1 日程と科目、費用また定員（15名まで）

2018年12月24日（月）～2019年1月6日（日）10:00～12:00

上記期間内の4日間（授業日）、フォロー日1日（休んだ振替）、テスト
受講料0円（初めての方）別途：模試費・教材費があります。早割あり。

内容と定員

算数・国語（小学生内容の総復習）と英語（初歩）

定員は15名です。ご予約含めて、残り11名です（11/13時点。）

2 中学準備ゼミの内容（国語編）

内容と目標（ねらい）

2020年度から大学入試センター試験が変わります。それは国語や数学で記述問題が出題されるということです。（これまではマーク式）しかもこの記述式（国語）では**論理的思考に加え、それを表現するための力が必要**となります。それはこれまでも同じですが、**過去の問題に比べて大きな変化がある**ということです。

「百聞は一見に如かず」です。発表されている問題を見てみましょう。

問題：かおるさんの家は「城見市街並み保存地区」に面している（ココで資料A有）、伝統的な外観を保った建物である。城見市が作成した「城見市『街並み保存地区』景観保護ガイドラインのあらまし」（ココで資料B有）とかおるさんの父と姉の会話を読み後の問いに答えよ。

問1：**会話文（父と姉の会話）**中の傍線部「一石二鳥」とは**この場合**街並み保存地区が何によってどうなることを指すか「**一石**」と「**二鳥**」の内容がわかるように40字以内で答えよ。

問4：父と姉の会話を聞いて、改めてガイドラインを読んだかおるさんは、姉の意見に賛成する立場で姉の意見を補うことにした。かおるさんはどのような意見を述べたと考えられるか。(ココで条件4つ有)

独立行政法人 大学入試入試センターより

上記は入試センターが発表した国語の記述問題の例です。問1はこれまでの学習と同様、論理的思考(＋知識)で解くことができますが、問4では会話文中の姉の意見を理解し、さらに姉の意見を補う考えを受験生が記述するものです。この問題には資料などの情報分析能力も必要になります。

大学入試センターも国語の能力として(読む・書く)能力に(話す・聞く)能力を試す問題を出題するとしています。「会話で相手が何をいっているのか?」日常に必要な能力です。しかし、現状の小学生・中学生が日常で「話すや聞く」能力を鍛錬できているのでしょうか?

国語の勉強は論理的思考を鍛える勉強です。よく論理・論理と聞きはしますが、本当に論理の学習をやっていますか?早い段階からこの論理的思考の学習をこの冬期から始めてみませんか?

3 担当講師紹介



吾妻先生
東北大経済学部出身
担当
国語・英語



小嶋先生
東北大工学部出身
担当
算数・数学

ご予約は。10時～21時(休校日以外)本部総合 022-722-8153